

(一社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会
第 70 回水化学管理分科会 (P11SC) 議事録

1. 日時 2025 年 5 月 12 日 (月) 13:30~15:00

2. 場所 Webex による Web 会議

3. 出席者 (順不同、敬称略)

(出席委員) 河村 (主査)、室屋 (副主査)、宮重 (平幹事代理)、中野、杉野、梅原、岡田、
高木、長瀬、松永 (鈴木委員代理)、篠原、莊田 (12 名)
(常時参加者) 遠藤、後澤、菅田、市橋、中浜、三島、長嶺、前田^記 (10 名)
(オブザーバ) 西村 (1 名)

4. 配付資料

- 【P11SC70-0】 第 70 回水化学管理分科会議事次第
- 【P11SC70-1】 第 69 回水化学管理分科会議事録案
- 【P11SC70-3-1】 沸騰水型原子炉の水化学管理指針 (公衆審査用資料)
- 【P11SC70-3-2】 沸騰水型原子炉の水化学分析方法コバルト 60 イオン (公衆審査用資料)
- 【P11SC70-3-3】 沸騰水型原子炉の水化学分析方法よう素 131 (公衆審査用資料)
- 【P11SC70-3-4】 沸騰水型原子炉の水化学分析方法金属不純物 (公衆審査用資料)
- 【P11SC70-4-1】 標準委員会中間報告意見募集結果
- 【P11SC70-4-2】 標準課気付き事項
- 【P11SC70-4-3】 コメント対応一覧表

5. 議事

(1) 本分科会の成立について

宮重幹事代行より、委員総数 15 名に対し出席委員は 12 名であり、開催定足数 (10 名) を満たしていることが確認された。

(2) 第 69 回水化学管理分科会議事録の確認

宮重幹事代行より、資料 P11SC70-1「第 69 回水化学管理分科会議事録(案)」について確認依頼があった。分科会終了までに出席者からコメントはなく、承認された。

(3) 人事について

河村主査より、PWR 水化学管理作業会における梅木委員の退任と曾根氏の委員就任について説明があり、出席委員多数の賛成により承認された。

(4) 各作業会からの報告について

1) BWR 水化学管理指針作業会

宮重幹事代行より、以下の報告があり、出席者からは特にコメントはなかった。

- ・ 指針 解説 5 の 3 行目「BWR と改良型 BWR (ABWR)・・・」の記載について、5/8 (木) に開催された第 71 回システム安全専門部会において、改良型 BWR との混同を避けるべく、「従来型 BWR と改良型 BWR (ABWR)・・・」と記載を見直すようコメントがあり、反映する方針である。
- ・ BWR 指針と分析標準 3 件について、5/2 より公衆審査が開始された。

また、高木委員より、転載許諾の残り 1 件に関する取得状況について説明があった。旧 AECL との繋がりのある Dr. Cook からは 3/E に連絡があったが、その後の進展がなく、再度連絡を試みる、とのことであった。万が一、転載許諾取得が間に合わない場合は、引用に切り替えるべく、並行して文案を考えることとした。

2) PWR 水化学管理指針作業会

前田常時参加者から、資料 P11SC70-4-1「標準委員会中間報告意見募集結果」に基づき、中間報告意見募集が終了したこと、また、資料 P11SC70-4-3「コメント対応一覧表」に基づき、コメント対応方針について説明があった。主な議論は以下の通り。

- ・ コメント一覧表 No. 61 における NEIMA に関する記載は BWR 指針でも同じ記載である。この記載は、原子力安全に係る「低頻度・高影響」のものを考えていく必要性の観点で記載したものであり、記載は妥当。現状の記載は変更せず、河村主査、宇井委員にて糸井委員に個別に説明する方針とした。
- ・ コメント一覧表 No. 66, 67 についても BWR 指針にも影響する記載であるが、何れもエディトリアルな内容であり、BWR 指針については公衆審査後にエディトリアルな修正として対応することを確認した。
- ・ コメント一覧表 No. 72 で指摘のあった解説 9.3 項「被ばく低減のための改良水化学技術」に関する記載は、既設プラントでの適用済である技術であることが明確になるよう項目名を見直すこととし、今後の新規技術開発を記載している解説 12 項と明確に区別する方針とすることで合意した。
- ・ コメント一覧表 No. 70 で指摘のあった「今回の改定点と原子力安全との接点」について、水化学の目的である「構造材料健全性の維持」、「燃料被覆管健全性の維持」、「被ばく低減」との関係性を指針に反映することとした。

(4) その他

- ・ 次回の分科会は 6/9 (月) 13:30~Webex による Web 会議とすることとした。
- ・ 河村主査から、NPC2025 において原子力安全と水化学に関する発表を予定してい

ることが共有された。

以上